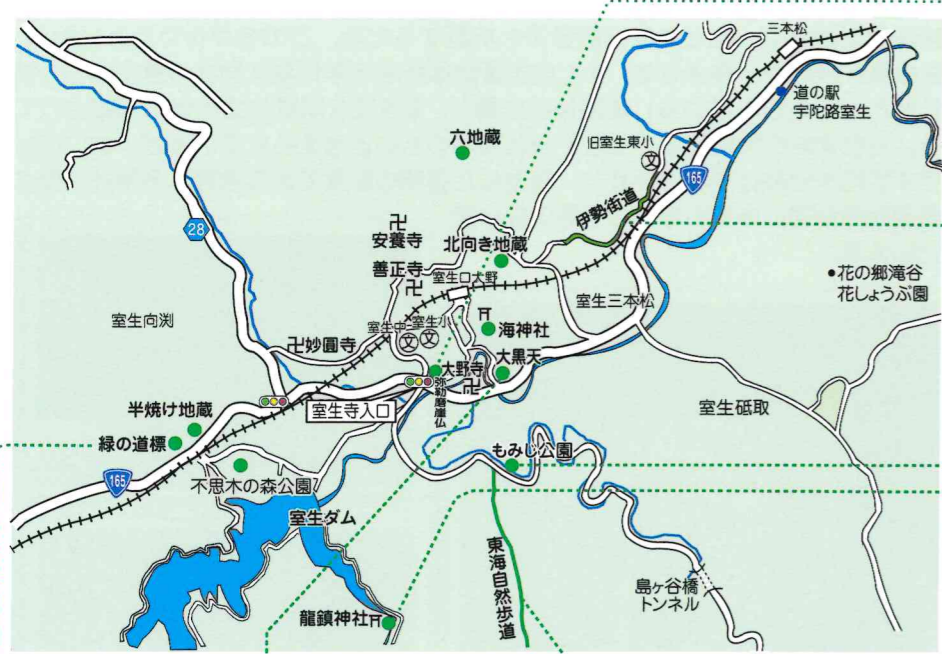


室生大野の磨崖仏・石仏・道標等



大黒天石仏

大野寺の対岸の岸壁に彫られている。大正時代に大野寺の信者有志が彫ったものである。弥勒磨崖仏前の宇陀川からよく見える。



緑の道標 宇陀路緑川



国道165号の旧道には、今もお伊勢さんの参拝客で賑った伊勢街道の面影が残っている。伊勢街道を行く人は長谷寺からこの緑川を通り室生に足を止めて旅の疲れを癒した。

特に三本松は宿場町として栄え、往時のままの旧家が建ち並んでいる。

伊勢街道 (青越え道)

当地を宇陀川の谷に沿って横断するこの街道は、奈良盆地から来る上街道と高田から来る初瀬街道とが合流し、初瀬を経て榛原の札の辻で伊勢本街道と分れる。

国道165号付近を通り、旧国道～海老坂へ抜ける。昔は海老坂を越えると数軒の旅籠があった。道中には弥勒磨崖仏を示す道標もある。



弥勒磨崖仏



国指定重要文化財。磨崖仏の岸壁は室生火山帯の特徴とされる石英安山岩の露出したもので、屏風岩と称する高さ30mの大岩面に彫刻されている。この工事の様子については鎌倉時代の「興福寺別当次第」等に記されており、承元元年10月から工事を始め、同年中には岩壁面を彫り落とし、翌年の彫刻を経て同3年3月には開眼供養がなされた。左下の岩面には密教曼陀羅が彫刻されている。

龍鎮溪谷

龍鎮溪谷は龍鎮神社を起点として室生寺までの山中を経由する熟練者向けのトレッキングコースとなっていて、多くのハイカーに人気のある溪谷である。



東海自然歩道

大野寺～室生寺コース



もみじ公園

東海自然歩道の入口前に広々とした敷地に多種のもみじを植栽。ハイキングをする人たちの休憩にまた、ドライブの途中の休憩にも最適の場所です。公園横の室生川の清流には河鹿や天然記念物の山椒魚が生息している。



室生寺へのバス道の途中から東海自然歩道への進入口があり、約6kmで室生の郷に出ることができる。

〈大野の郷風景〉

緑川鉄橋を走る 特急「しまかぜ」



大野を海老坂峠から眺める

大野寺の弥勒磨崖仏

室生大野



20景